Creative Enzymes®

NAD+-タンパク質-アルギニン ADP-リボシル転移酵素

Cat. No. EXWM-2659

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	タンパク質モノADPリボシル化は、細胞活動の調節に関与する可逆的な翻訳後修飾です。タンパク質中のアルギニン残基は受容体として機能します。遊離アルギニン、アグマチン [(4-アミノブチル)グアニジン]、アルギニンメチルエステルおよびグアニジンも同□に機能します。一部の種からの酵素は、NADP+を受容体として使用することもできます（生成物としてNω-[(2'-ホスホ-ADP)-D-リボシル]-タンパク質-L-アルギニンを生成します）が、より□くなります。この酵素は、EC 4.6.1.1、アデニル酸シクラーゼのNAD+依存的活性化を触媒します。一部の細菌性エンテロトキシンは、類似の酵素活性を持っています。（参照: EC 2.4.2.36 NAD+-ジフチアミドADP-リボシルトランスフェラーゼ）。
別名	ADP-リボシル転移酵素; モノ(ADP-リボシル)転移酵素; NAD+:L-アルギニン ADP-D-リボシル転移酵素; NAD(P)+-アルギニン ADP-リボシル転移酵素; NAD(P)+:L-アルギニン ADP-D-リボシル転移酵素; モノ-ADP-リボシル転移酵素; ART; ART1; ART2; ART3; ART4; ART5; ART6; ART7; NAD(P)+-タンパク質-アルギニン ADP-リボシル転移酵素; NAD(P)+:タンパク質-L-アルギニン ADP-D-リボシル転移酵素

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.4.2.31
CAS登□番号	81457-93-4
反□	NAD+ + タンパク質L-アルギニン = ニコチンアミド + Nω-(ADP-D-リボシル)-タンパク質-L-アルギニン
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。